

高品質で多収な「ふくまる」を作ってみませんか？

× 県オリジナル水稲品種「ふくまる」は、「コシヒカリ」と比べ、成熟期が7～10日早く、多収、大粒、高温年でも品質が良いなどの特徴があり、実需者の評価も高く、もっと供給量を増やして欲しいとの声をいただいています。しかしながら、平成29年産では県内で約630haの作付けに留まっており、まだまだ需要を満たせていない状況です。

× 今後は、需要に応じた生産を進めていくことが重要ですので、「ふくまる」の作付けを検討してみたいかがでしょうか。



◆ 収量600kg/10aの確保により「コシヒカリ」以上の所得が得られます！

「ふくまる」は、目標収量600kg/10aを達成した場合、「コシヒカリ」と比べて10a当たり**6,000円程度**高くなります。

表 「ふくまる」と「コシヒカリ」との所得比較

	収量 ^{*1} (kg/10a)	収益 ^{*2} (円/10a) A	費用 ^{*3} (円/10a) B	所得 (円/10a) A-B
ふくまる	600	125,000	96,222	28,778
コシヒカリ	515	115,875	92,871	23,004

※1 ふくまるの目標収量を達成した場合の試算。コシヒカリ収量は、農林水産省の統計における茨城県の10a当たり平均収量。

※2 60kg当たり単価は、「ふくまる」で12,500円、「コシヒカリ」で13,500円と仮定して計算。

※3 費用は、「農業経営統計調査平成29年産米生産費(茨城県10aあたり)」の数値を基に、産地振興課で試算。

「ふくまる」栽培のポイント

- 初期生育を旺盛に登熟期の肥効を保つ
・「コシヒカリ」の施肥量を目安に、窒素成分で3～4kg/10a増肥。
- 茎数をしっかり確保する
・坪当たり50～60株植え(坪当たり50株を下回る疎植は避ける)
※栽培にあたっては、県オリジナル品種「ふくまる」栽培マニュアル(平成29年2月作成)を参考

詳しい栽培方法は、お近くの地域農業改良普及センターにお問合せください。



「ふくまる」を栽培するには、生産者登録をお願いします。詳細は、裏面をご覧ください。

県オリジナル水稲品種「ふくまる」を栽培する際は、 「生産者登録」をお願いします!

×

「ふくまる」の栽培にあたっては、高品質な米の生産・流通を推進するため、品質の安定化等に必要な要件に同意していただいた生産者に、「生産者登録」をお願いしています。

「ふくまる」の栽培を希望される方は、必ず「生産者登録」を行った上で栽培して下さい。

×



Q. どうすれば「ふくまる」の栽培ができるの?

A. 「ふくまる」生産に関する誓約書(様式第1号)を提出いただくことで、「生産者登録」を行うことができます。

登録後は、以下の2つの書類を、期限内に提出してください。

- ①購入種子を証明するものの写し：提出期限 当該年6月末日まで
- ②栽培管理記録簿(様式第3号)：提出期限 当該年9月末日まで

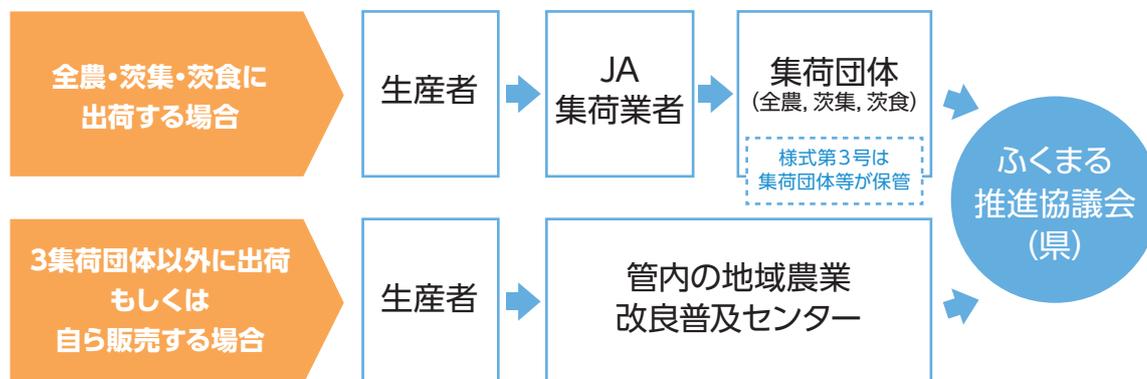
※誓約書は、毎年提出が必要となります。

様式は、各JA,集荷業者,地域農業改良普及センター等にお問合せ下さい。



Q. 誓約書や報告書提出の流れは?

A. 出荷先によって、誓約書や報告書の提出先が異なります。



【お問い合わせ先】

ふくまる推進協議会事務局(茨城県農林水産部産地振興課内)

茨城県産米銘柄化協議会事務局(全農茨城県本部米穀部米穀課内)

TEL029-301-3921

TEL029-219-2222

